

MDC-70/MDC-70T

Multi Device Controller

メニュー 説明書

【改定履歴】

No	発行日	バージョン	内容
1	2015年7月	0100-01-57	取扱説明書とMENU(詳細)を分けました。 GPI動作にNEXT/PREV/TOP/ENDを追加 ※追加MENU No 33109～3310C/33212～33215
2			
3			
4			
5			

【目次】

1. はじめに.....	3
2. MENU 操作.....	3
2.1 MENU のバンク設定.....	3
3. MENU 一覧.....	4
4. お問い合わせ.....	24

1. はじめに

“MDC-70”“MDC-70T”をご使用頂きありがとうございます。

本書は MENU の詳細を記載致します。取扱説明書と合わせてご確認ください。

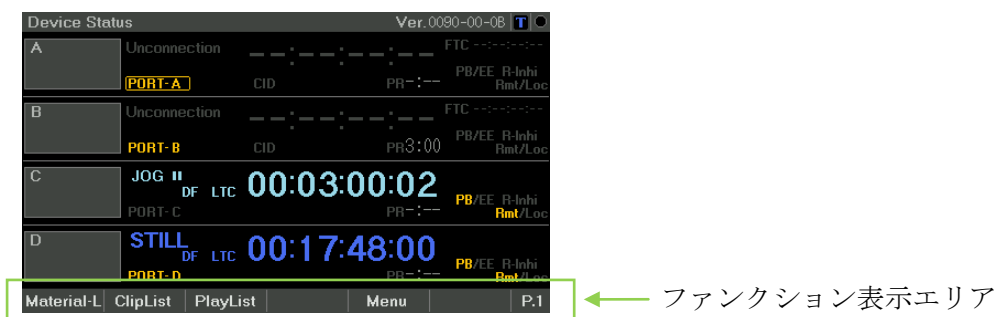
【対応バージョン】

0100-01-3D 以降対応

2. MENU 操作

MENU 設定を行うにはファンクション表示エリア内の”Menu”を選択し、

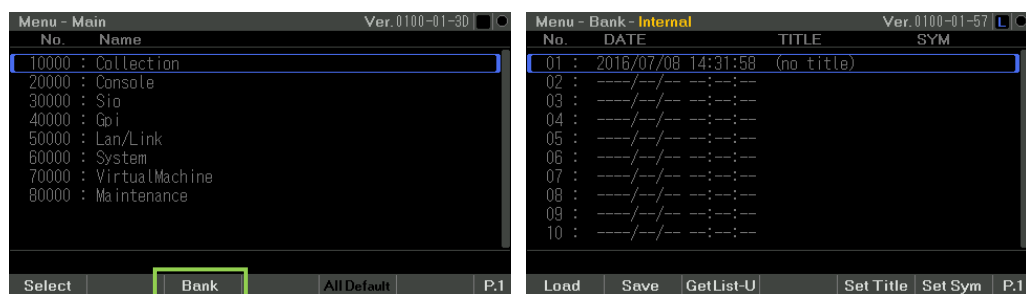
上下▲と+ (F4) - (F3)キーで選択を行い Set (F1)キーで登録を行います。



2.1 MENU のバンク設定

メニューの内容はバンクまたは USB メモリに保存、読み出しをすることが可能です。

最大保存数 99



※USB メモリに保存を行う時は FAT フォーマットでご使用下さい。

3. MENU 一覧

○ 共通事項

- ・設定値の変更は、“(F4)+”、“(F3)-”“SET” 操作で行います。
- ・下線が引いてある設定値は、Default の設定です。
- ・“\$ ~”の項目は、電源再起動(ResetMDC)でその設定が反映されます。

○ メニュー区分

Main メニュー画面では、メニューの区分を選択します。

10000 : Collection は詳細な MENU 内容を一括で設定する事が可能です。

例えば、VDCP プロトコルと VTR プロトコルを切り替える場合、SIO メニューの中で複数個所の設定を行わなければなりません。本 MENU を使用すると詳細な設定を行わなくても、一括で設定を行う事が可能です。Collection 設定で Free と設定すると一括で設定を行わずに個別に設定する事が可能です。

20000 : Console は Blank ボタンや Preroll 時間等の設定変更が可能です。

30000 : Sio はポート毎の設定やポート毎の GPI 設定が可能です。

40000 : Gpi は本機のボタンの機能の一部を GPI に割り当てる事が可能です。

50000 : Lan/Link は UnitID 番号や IP アドレスの設定変更が可能です。

60000 : System は内部時計の時間設定やスクリーンセーバー機能の時間設定が可能です。

70000 : VirtualMachine は複数台の同時使用時の調相パラメータの設定です。

○ “10000:Collection“ 関連

・簡易設定を行います。

Collection		
項目番号	項目名	内容
17000	\$CutomPtn	特定案件用設定。 0000:標準動作設定（通常時左値固定）
17002	\$PcSysPtn	コントローラモードと PC モードの切替えを行います。 <u>Free</u> :（前回の設定を保持します） StandAlone : 通常モードで使用します。(VTR 制御等) MvxMode-A : SlaveMode(Mvx) PcMode-A : SlaveMode A PcMode-B : SlaveMode B PcMode-C : SlaveMode C ※SlaveMode で起動すると画面は SlaveMode と表示され、PC 等と通信が 確立すると、アプリケーション依存の画面に切り替わります。 ※通常モードに戻すには ESC+SFT ボタンを押しながら電源を投入して下 さい。投入後に本 MENU を StandAlone に戻して下さい。
17100	\$Port-Default	PORT の使用方法を設定します。 VTR 単体制御及び同時制御を行う時に選択します。 Yes / No
17101	\$Port-Coupling12	PORT の使用方法を設定します。 1,2 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。
17102	\$Port-Coupling34	PORT の使用方法を設定します。 3,4 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。
17103	\$Port-Coupling12/34	PORT の使用方法を設定します。 1,2 と 3,4 PORT を選択しカップリング機能で使用する時に選択します。
17104	\$Port-Coupling1234a	PORT の使用方法を設定します。 1,2 と 3,4 PORT を同時にカップリング機能で使用する時に選択します。
17301	\$Port1-Protocol	PORT 1 で使用するプロトコルを選択します。 1) <u>Free</u> :（前回の設定を保持します） 2) Default : デフォルト（初期設定値）（※VTR プロトコルに設定） 3) Through :（PC モード用） 4) VTR-a : VTR プロトコルに設定します。 5) XDS-a VDCP R1 : VDCP プロトコルの REC ポートに設定します。 6) XDS-a VDCP P1 : VDCP プロトコルの PLAY ポートに設定します。 7) SR1K-a VDCP R1 8) SR1K-a VDCP P1 9) SR1K-a VDCP R2 10) SR1K-a VDCP P2
17302	\$Port2-Protocol	PORT 2 で使用するプロトコルを選択します。 同上
17303	\$Port3-Protocol	PORT 3 で使用するプロトコルを選択します。 同上
17304	\$Port4-Protocol	PORT 4 で使用するプロトコルを選択します。 同上

○ “20000: Console“ 関連

操作パネル関連の設定メニューです。

Console		
項目番号	項目名	内容
22001	Port1-RecNextClipId	PORT1で使用する、次の記録用のファイル番号です。 M...0001
22002	Port2-RecNextClipId	PORT2 同上 M...0001
22003	Port3-RecNextClipId	PORT3 同上 M...0001
22004	Port4-RecNextClipId	PORT4 同上 M...0001
27400	PortSelectMode	ポートの選択モードを指定します。 <u>Normal</u> : 標準のポート選択モード <u>OldParaSel</u> : 旧(MDC50T 等形式)複数ポート選択モード △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27401	PortAutoChg	再/録操作時に従う(カップリング)ポートの自動切り替えの設定。 <u>Disable</u> : 自動切り替えしない <u>Enable</u> : 再生系操作をした場合は再生系ポートへ自動切り替え、 記録系操作をした場合は記録系ポートへ自動切り替え
27501	Port1-RecCoupling	PORT1 選択時での記録制御先指定。(カップリング用) 16 パターンの設定が可能です。 <u>1. . . .</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27502	Port2-RecCoupling	PORT2 同上 <u>. 2. . .</u>
27503	Port3-RecCoupling	PORT3 同上 <u>. . 3.</u>
27504	Port4-RecCoupling	PORT4 同上 <u>. . . 4</u>
27511	Port1-PlayCoupling	PORT1 選択時での再生制御先指定。(カップリング用) 16 パターンの設定が可能です。 <u>1. . . .</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27512	Port2-PlayCoupling	PORT2 同上 <u>. 2. . .</u>
27513	Port3-PlayCoupling	PORT3 同上 <u>. . 3.</u>
27514	Port4-PlayCoupling	PORT4 同上 <u>. . . 4</u>
27601	Port1-MaterialBank	PORT1 選択時でのファイルリストの登録エリアの指定。 <u>Bank-A</u> <u>Bank-B</u> <u>Bank-C</u> <u>Bank-D</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27602	Port2-MaterialBank	PORT2 同上 <u>Bank-B</u>

27603	Port3-MaterialBank	PORT3 同上 <u>Bank-C</u>
27604	Port4-MaterialBank	PORT4 同上 <u>Bank-D</u>
27611	Port1-ClipListBank	PORT1 選択時での CLIP(CUE)リストの登録エリアの指定。 <u>Bank-A</u> <u>Bank-B</u> <u>Bank-C</u> <u>Bank-D</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
	Port2-ClipListBank	PORT2 同上 <u>Bank-B</u>
	Port3-ClipListBank	PORT3 同上 <u>Bank-C</u>
	Port4-ClipListBank	PORT4 同上 <u>Bank-D</u>
27621	Port1-PlayListBank	PORT1 選択時でのプレイリストの登録エリア指定。 <u>Bank-A</u> <u>Bank-B</u> <u>Bank-C</u> <u>Bank-D</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27622	Port2-PlayListBank	PORT2 同上 <u>Bank-B</u>
27623	Port3-PlayListBank	PORT3 同上 <u>Bank-C</u>
27624	Port4-PlayListBank	PORT4 同上 <u>Bank-D</u>
27701	Port1-Symbol	PORT1 のシンボルを変更します。 A~D / 1~V4 / R1~R4 / P1~P4 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27702	Port2-Symbol	PORT2 同上 <u>B</u>
27703	Port3-Symbol	PORT3 同上 <u>C</u>
27704	Port4-Symbol	PORT4 同上 <u>D</u>
27711	Port1-DevStsIcon	PORT1のアイコンを画像入力にするか Symbol にするか選択します。 <u>PortSym</u> :上記(27701)のシンボルに従います。 Video-IN1 :IN1 画像を表示します。
27712	Port2-DevStsIcon	PORT2 同上 <u>PortSym</u>
27713	Port3-DevStsIcon	PORT3 同上 <u>PortSym</u>
27714	Port4-DevStsIcon	PORT4 同上 <u>PortSym</u>

27801	\$MarkBlankKeyAsn	MARK エリアの Blank キーを変更します。 Blank :何もしません。 <u>Search</u> :CUE 点を Search します。 <u>Login</u> : カップリング中に REC 側の CUE 点を登録します。
27811	\$ContBlankKeyAsn1	CONTROL エリアの Blank キー1を変更します。 Blank :何もしません。 <u>Standby</u> : STNDBY ON します。 Rew : REW 動作します。 F.FWD :FF 動作します。 Var1:Var1 で設定した%で再生します。(関連 MENU 27E01) Var2:Var2 で設定した%で再生します。(関連 MENU 27E02) Var3:Var3 で設定した%で再生します。(関連 MENU 27E03) Top:XDS 拡張コマンド TOP 動作します。 End:XDS 拡張コマンド END 動作します。 Pre:XDS 拡張コマンド PREV 動作します。 Next:XDS 拡張コマンド NEXT 動作します。
27812	\$ContBlankKeyAsn2	CONTROL エリアの Blank キー2を変更します。 <u>同上</u> <u>Blank</u>
27813	\$ContBlankKeyAsn3	CONTROL エリアの Blank キー3を変更します。(MDC-70 のみ) <u>同上</u> <u>Blank</u>
27901	Preroll-1	プリロール時間の指定 <u>-03:00</u> 時間変更可能です。
27902	Preroll-2	プリロール時間の指定 <u>-05:00</u> 時間変更可能です。
27903	Preroll-3	プリロール時間の指定 <u>-07:00</u> 時間変更可能です。
27904	Preroll-4	プリロール時間の指定 <u>-10:00</u> 時間変更可能です。
27905	Preroll-5	プリロール時間の指定 <u>-20:00</u> 時間変更可能です。
26906	Preroll-6	プリロール時間の指定 <u>-30:00</u> 時間変更可能です。
27911	PostRoll-1	ポストロール時間の指定 <u>+03:00</u> 時間変更可能です。
27912	PostRoll-2	ポストロール時間の指定 <u>+05:00</u> 時間変更可能です。
27913	PostRoll-3	ポストロール時間の指定 <u>+07:00</u> 時間変更可能です。
27914	PostRoll-4	ポストロール時間の指定 <u>+10:00</u> 時間変更可能です。
27915	PostRoll-5	ポストロール時間の指定 <u>+20:00</u> 時間変更可能です。
27916	PostRoll-6	ポストロール時間の指定 <u>+30:00</u> 時間変更可能です。
27B00	CTL-DisplayMode	CTL の時間表示方法の指定 24H <u>12H</u>
27D00	AtCup-SetClp-CList	ClipList に CUE 点を登録した時に自動で CUE UP します。 <u>Disable</u> :CUE UP しません。 <u>Enable</u> :CUE UP します。

27D01	AtCup-SetClp-PList	PlayList に CUE 点を登録した時に自動で CUE UP します。 Disable : CUE UP しません。 Enable : CUE UP します。
27D02	AtCup-CsrMov-Mlist	Material List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable : CUE UP しません。 Enable : CUE UP します。
27D03	AtCup-CsrMov-Clist	Clip List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable : CUE UP しません。 Enable : CUE UP します。
27D04	AtCup-CsrMov-PList	Play List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable : CUE UP しません。 Enable : CUE UP します。
27E01	Preset VAR-1	VAR 再生のスピードを指定します。 100% %の変更は可能です。
27E02	Preset VAR-2	VAR 再生のスピードを指定します。 50% %の変更は可能です。
27E03	Preset VAR-3	VAR 再生のスピードを指定します。 30% %の変更は可能です。
27F01	SpeedMode	T-BAR 操作とJOG操作の切替え方法を指定します。 Button : J/S、VAR ボタンによる切替え Direct : T-BAR/DIAL 操作による切替え
27F02	DialSafeStopper	Direct 切替え操作時、JOG の操作方法を指定します。 Disable : Stopper 機能は無効になります。 Enable : Stopper 機能は有効になります。
28000	JogPattern	JOG の操作感の変更が可能です。 Fix: デフォルトパラメータ(固定)での動作になります。 Adjustable : 以下のパラメータ指定が有効になります。
28001	JogParam-Point1	10
28002	JogParam-Point2	20
28003	JogParam-Angl1	1
28004	JogParam-Angl2	5
28005	JogParam-Angl3	30
28006	JogParam-JogToShtl	20
28101	T-BarLimit	T-Bar のスプリング位置からの動作を指定します。 Free : 早送り・巻き戻し動作します。 Low : 下位置以下で停止状態です。 High : 上位置以上でPLAY状態です。 Low&High
28200	ExtRefDispMode	REF が接続されているか否か、STOP ボタン点滅で指定します。 Disable : REF 入力無くても点滅しません。 StopSw : REF 入力無いと STOP SWが点滅します。
28202	DialCursorAdjust	JOG(SFT+Δ)でカーソルを移動させた時の移動量の調整パラメータです。 3
28203	PB/EE-SendPort	EE コマンドを出すポートを指定します。 MasterPort : 現在選択中(PORT 選択 SW 点滅中)のポート RecPort : 記録系ポート PlayPort : 再生系ポート

28204	RecStopOprTimer	RECの停止時の操作を長押しで停止する様に時間指定します。 0 frame
29600	ThumbnailCapture	CUE 点のサムネイルを IN1～4の入力画像よりキャプチャーする事が可能です。 Disable : キャプチャー登録します。 Enable : キャプチャーは行いません。 ※キャプチャー機能を有効にすると、CUE 点の登録動作が遅くなります。
29601	ClipList-SetMode	Clip List へのCUE点の登録方法を選択します。 Search : 若番より空いている所に登録します。 OverWrite : カーソル位置に上書します。
29900	AE-SyncRetry	VTR 簡易編集画面時での調相制御リトライ回数パラメータです。 3

○ “30000:Sio” 関連

SIO ポート関連の設定メニューです。

設定対象の SIO ポート1~4 の切り替えは、PORT SELECT ボタンで行います。

Sio		
項目番号	項目名	内容
30101	Sio:Baudrate	SIO のボーレート指定 9600 19200 <u>38400</u> 115200
30102	Sio:DataBit	SIO のデータビット指定 7bit <u>8bit</u>
30103	Sio:Parity	SIO のパリティビット指定 Non Even <u>Odd</u>
30104	Sio:StopBit	SIO のストップビット指定 <u>1bit</u> 2bit
30105	Sio:PinAssign	SIO の Tx/Rx 信号アサインの指定 <u>RemoteOut</u> (VTR 等とストレートケーブルで接続の場合) RemoteInp (コントローラ等とストレートケーブルで接続の場合) ※ケーブルのストレート/クロスをここで吸収可。
30106	Sio:FrameTimeOut	SIO のフレーム通信タイムアウト指定 (単位≒Ref) <u>5</u> (通常左値固定)
30107	Sio:CharTimeOut	SIO の受信キャラクタ間タイムアウト指定 (単位≒ms) <u>15</u> ※スループロトコルの場合、接続相手の性能に合わせ適値として下さい。 受信フレームが問題なく安定して”終端される”範囲で最小値に調整して下さい。 ※上記デフォルト値は安全の為、少し長めの値としてあります。 フレーム精度制御の必要が無ければデフォルトのまま使用して下さい。
30201	PortDirection	接続対象との“制御の方向”の指定 RemoteOut MCI が制御を出す場合 (=VTR 等) RemoteInp MCI が制御を受ける場合 (=コントローラ等)
30202	Protocol	通信プロトコルの指定 Through (プロトコル非依存のスルー通信をさせる場合) <u>9pin</u> Odetics Sdisk Vdcp ※“Through”指定の場合、以降のプロトコルに依存する設定項目は制御に使用しない為、基本はデフォルトのままとして下さい。 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30203	FrameFormat	フレームフォーマット指定 <u>NTSC-DF</u> NTSC-NDF PAL

30205	DoropFrameSign	ドロップフレーム指定 DeviceAnswer (DF はデバイスからの TC アンサーに従う) Fix (先述フレームフォーマット値で固定)
30206	OptCmdParam	オプションパラメータ指定 01 h (通常左値固定)
30207	PortAttribute	ポートの 再録 制御 属性の指定 Play&Rec (再録 制御 両方行うポート) (通常左値固定) Play (再生制御のみ行うポート) (Disk 系の Play ポート等) Rec (記録制御のみ行うポート) (Disk 系の Rec ポート等) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30500	DevStsSns-Tmg	周期ステータスセンス送信タイミング指定 0 (通常左値固定)
30501	TcSnsTyp1(S)-Tmg	周期 TC センス送信タイミング指定(センス TC が1種類用) 0 (通常左値固定)
30502	TcSnsTyp1(D)-Tmg	周期 TC センス送信タイミング指定(センス TC が2種類用の1つ目) 0 (通常左値固定)
30503	TcSnsTyp2(D)-Tmg	周期 TC センス送信タイミング指定(センス TC が2種類用の2つ目) 0 (通常左値固定)
30600	Stop-Timing	STOP コマンドタイミング指定 6 frame (通常左値固定)
30601	Still-Timing	STILL コマンドタイミング指定 6 frame (通常左値固定)
30606	RecTcOffset	Rec 時の TC に対するオフセット 0 frame (通常左値固定)
30607	PlayTcOffset	Play 時の TC に対するオフセット 0 frame (通常左値固定)
30700	RecEnable	記録制御の有効/無効 RecDisable 記録禁止 RecEnable 記録許可 (通常左値固定)
30701	NomalRecStartDly	REC コマンド遅延指定 0 frame (通常左値固定)
30800	StopCommand	停止制御に使用するコマンドの指定 Stop (通常左値固定) Var-Zero Jog-Zero Shuttle-Zero
30803	DialShuttleMax	Shuttle 使用時の MAX 値の設定 x4, x8, x16, x32, x50, x60, x100, x200, Max, FF/REW
30804	DialVarMax	JOG_VAR 使用時の MAX 値の設定 ※MDC-70 のみ x4, x8, x16, x32, x50, x60, x100, x200, Max, FF/REW
30805	T-BarMax	T-Bar 使用時の MAX 値の設定 ※MDC-70T のみ x4, x8, x16, x32, x50, x60, x100, x200, Max, FF/REW
30902	Cue:StartWait	同期 Cueup 制御での制御開始タイミング指定 10 frame (通常左値固定)
30903	Cue:CmplChkWait	同期 Cueup 制御での制御完了監視 Delay 指定 10 frame (通常左値固定)

30904	Cue:CmplDelay	同期 Cueup 制御での制御完了 Delay 指定 10 frame (通常左値固定)
30905	Cue:ReCueup	同期 Cueup 制御での再制御指定 ReCueup No-ReCueup (通常左値固定)
30907	Cue:RecTc-SchDly	自動追いかけ再生制御での再生遅延量の設定 210 frame (通常左値固定)
30908	Cue:CupAftStlCmd	画出力機能付き Cueup 機能での画出しの為の停止制御指定 Nop (通常左値固定) Stop Var-Zero Jog-Zero Shuttle-Zero ※Cueup 後、EE になるなどの機器の対策用。
30909	Cue:CupAftStlDly1	上記 Cueup 機能での Cueup 送信後から停止送信までの Delay 30 frame (通常左値固定)
3090A	Cue:CupAftStlDly2	上記 Cueup 機能での Cueup 完了後から停止送信までの Delay 5 frame (通常左値固定)
30A02	Sync:StartDelay	同期再生制御開始タイミング指定 5 frame (通常左値固定)
30A04	Sync:DiffChkWt	同期再生制御 TC 監視タイミング指定 30 frame (通常左値固定)
30A05	Sync:SyncGrade	同期再生制御 TC 監視許容幅指定 0 frame (通常左値固定)
30A08	Sync:LockCmplWt	同期再生制御 TC 監視持続時間指定 20 frame (通常左値固定)
30A0D	Sync:ParaRecDelay	一斉 Rec 制御時の Rec 送信 Delay 指定 0 frame (通常左値固定)
30D00	V:VtrStsSnsLen	VTR ステータスセンスの byte 数指定 14 byte (通常左値固定)
30D01	V:TcSnsType1	VTR TC センス種別 指定 Auto (通常左値固定) LTC VITC FTC
30D02	V:TcSnsType2	VTR TC センス種別 指定 (2 種目の TC センス指定用) Disable (2 種目の TC センス無し) (通常左値固定) Auto LTC VITC FTC CTL LTC-UB VITC-UB ※主に CTL や UB の取得用
30D03	V:TcErrBypassCnt	TC センスエラーバイパス回数指定 3 (通常左値固定)
30D04	V:UbitSnsEnable	(TC センスと合わせての)ユーザービットセンス許可指定 Disable センスしない (通常左値固定) Enable センスする

30D06	V:CueupTcType	VTR の Cueup 制御に使用する TC 種別の指定 Free <u>Auto</u> (通常左値固定) TC CTL
30D07	V:ColorFrmSel	VTR 調相制御時に使用するカラーフレームセレクト指定 Free (通常左値固定) 2fild 4fild
30D0B	V:SpeedSnsType	VTR のスピードセンスコマンド指定 Disable センスしない (通常左値固定) VtrSpeed VTR のスピードセンスコマンドでセンス
30D0F	V:PB-SendMode	VTR の PB コマンド送信指定 Disable 送信しない <u>With-Play</u> 再生系コマンドと一緒に PB 送信 (通常左値固定)
30D10	V:PB-SendDelay	上記送信用の送信 Delay 指定 0 frame (通常左値固定)
30D14	V:CtlResetType	VTR の CTL リセットコマンド指定 <u>ResetCmd</u> CTL リセットコマンドを使用 (通常左値固定) <u>PresetZero</u> オール 0 の CTL 値をプリセット
30D15	V:CtlPresetDF	VTR の CTL リセット時の DF 指定 <u>Default</u> (通常左値固定) DF NDF
30D16	V:TcDirStsEmu	TC 監視による走行方向検出機能 <u>Disable</u> 使用しない (通常左値固定) Enable 使用する ※9pin 仕様での "Dir" ビット非対応の機器用
30E40	V:EdtPrsSnsLen	VTR の Edit Preset センス長 指定 0 byte センスしない (通常左値固定) ※DA が 8ch までの一般的な VTR 機器は 2 として下さい。
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ 5 frame (通常左値固定)
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ 4 frame (通常左値固定)
30E45	V:EditIn-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-ON 送信タイミングパラメータ 0 frame (通常左値固定)
30E46	V:EditOut-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-OFF 送信タイミングパラメータ 0 frame (通常左値固定)
30E47	V:EditMiniDur	VTR 編集制御の最小デュレーション 15 frame (通常左値固定)
31000	Dsk:FnameSnsTyp	Disk 系プロトコルのファイルセンスコマンド指定 <u>Normal</u> センスコマンドはプロトコル設定に従う (通常左値固定) Doremi コマンド固定 AMP コマンド固定 S-Disk コマンド固定
31002	Dsk:DriveType	Disk 系プロトコルでの ディスクドライブ制御 指定 <u>UnUsed</u> ドライブ制御無し (通常左値固定)
31003	Dsk:FileListSns	Disk 系プロトコルでのファイル名リストセンス指定 Disable ファイル名リストセンスを行わない <u>Enable</u> ファイル名リストセンスを行う

31100	Sdsk:RecDur	Disk 系プロトコルでの収録時間の指定 00:00:00:00 (通常左値固定) (一部の Disk 系機器でオープンエンドの意)
31103	Sdsk:ModelType	S-Disk プロトコルのモデル指定 MAV (通常左値固定) DR1000 XDCAM
31300	Ode:RecCueRec ->RecWt	Oditcs プロトコルでの Rec 送信タイミング指定 10 (通常左値固定)
31501	Vdcp:RecPortId	VDCP での 収録系の “PORT-ID” の指定 0 (収録系ポートで無いか、PC 側で OpenPort 制御を行う場合は”0”) 指定する場合は、通常 -1、-2、-3... 等の負数で指定 適値は VDCP 機器依存 (通常は”-1”等) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
31502	Vdcp:PlayPortId	VDCP での 再生系の “PORT-ID” の指定 0 (再生系ポートで無いか、PC 側で OpenPort 制御を行う場合は”0”) 指定する場合は、通常 1、2、3... 等の正数で指定 適値は VDCP 機器依存 (通常は”2”等) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
31504	Vdcp:CueupCmd	VDCP での Cueup コマンド指定 Cueup(open) Cueup(jog) PlayCue(open) PlayCue(jog) (通常左値固定)
31505	Vdcp:FnameSnsTyp	VDCP でのファイルセンスコマンド指定 ShortName LongName (通常左値固定)
31506	Vdcp:TcSnsType	VDCP での TC センスコマンド指定 Single(FTC) Single(LTC) Dual(FTC/LTC) (通常左値固定)
31507	Vdcp:StillCmd	VDCP での停止動作コマンド指定 Still Var-Zero (通常左値固定)
31508	Vdcp:FileDelWt	VDCP のファイル削除機能タイミング指定 60 (通常左値固定)
31600	Vdcp:ClipMinDur	VDCP でのクリップの最小サイズ指定 30 frame (通常左値固定)
31601	Vdcp:Nxt-PlayTmg	VDCP で連続再生を行う時の Play タイミング指定 3 frame (通常左値固定)
31602	Vdcp:End-StpTmg	VDCP で連続再生を行う時の Stop タイミング指定 3 frame (通常左値固定)
31603	Vdcp:NextCupTmg	VDCP で連続再生を行う時の 次 Cueup タイミング指定 5 frame (通常左値固定)
31604	Vdcp:ClipTc-Typ	VDCP で連続再生を行う時の制御タイムコードの指定 ZeroBase (通常左値固定) ClipTc
31605	Vdcp:2nd-PlyTmg	VDCP で連続再生を行う時の 2ndCLip の Play タイミング指定 0 frame (通常左値固定)

33100	Gpi:Eject-C	GPI 入力 VTR-Eject コマンド受付 Bit の指定 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効) (以下同)
33101	Gpi:Stbyoff-C	GPI 入力 VTR-Standby-OFF
33102	Gpi:StbyOn-C	GPI 入力 VTR-Standby-ON
33103	Gpi:Stop-C	GPI 入力 VTR-Stop コマンド
33104	Gpi:Still-C	GPI 入力 VTR-Still
33105	Gpi:Rec-C	GPI 入力 VTR-Rec
33106	Gpi:Play-C	GPI 入力 VTR-Play
33107	Gpi:FF-C	GPI 入力 VTR-FF
33108	Gpi:Rew-C	GPI 入力 VTR-Rew
33109	Gpi:Next-C	GPI 入力 VTR-Next ※PDW/XDS 拡張コマンド
3310A	Gpi:Prev-C	GPI 入力 VTR-Prev ※PDW/XDS 拡張コマンド
3310B	Gpi:Top-C	GPI 入力 VTR-Top ※PDW/XDS 拡張コマンド
3310C	Gpi:End-C	GPI 入力 VTR-End ※PDW/XDS 拡張コマンド
33200	Gpi:Rem-S	GPI 出力 VTR-REMOTE/LOCAL ステータス出力 Bit の指定 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効) (以下同)
33201	Gpi:Tape-S	GPI 出力 VTR-TAPE 有無 ステータス出力 Bit の指定
33202	Gpi:StbyOn-S	GPI 出力 VTR-Standby-ON
33203	Gpi:Stop-S	GPI 出力 VTR-Stop
33204	Gpi:Still-S	GPI 出力 VTR-Still
33205	Gpi:Rec-S	GPI 出力 VTR-Rec
33206	Gpi:Play-S	GPI 出力 VTR-Play
33207	Gpi:Fwd-S	GPI 出力 VTR-FWD
33208	Gpi:FF-S	GPI 出力 VTR-FF
33209	Gpi:Rew-S	GPI 出力 VTR-Rew
3320A	Gpi:Dir-S	GPI 出力 VTR-逆走行
3320B	Gpi:Jog-S	GPI 出力 VTR-Jog
3320C	Gpi:Shuttle-S	GPI 出力 VTR-Shuttle
3320D	Gpi:Var-S	GPI 出力 VTR-Var
3320E	Gpi:CueBusy-S	GPI 出力 VTR-Cueup 中
3320F	Gpi:CueCmpl-S	GPI 出力 VTR-Cueup完了
33210	Gpi:SpdMovFw-S	GPI 出力 VTR-順方向走行
33211	Gpi:SpdMovRv-S	GPI 出力 VTR-逆方向走行
33212	Gpi:Next-S	GPI 出力 VTR-NEXT ※関連 MENU31103
33213	Gpi:Prev-S	GPI 出力 VTR-Prev ※関連 MENU31103
33214	Gpi:Top-S	GPI 出力 VTR-Top ※関連 MENU31103
33215	Gpi:End-S	GPI 出力 VTR-End ※関連 MENU31103
33300	Gpi:Stop-OutBit	GPI 出力 VTR-Stop イベントパルス Bit の指定 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効) (以下同)
33301	Gpi:Stop-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame
33303	Gpi:Play-OutBit	GPI 出力 VTR-Play イベントパルス Bit の指定
33304	Gpi:Play-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame
33306	Gpi:Rec-OutBit	GPI 出力 VTR-Rec イベントパルス Bit の指定
33307	Gpi:Rec-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame

○ “40000:Gpi” 関連

GPI 共通関連の設定メニューです。

Gpi		
項目番号	項目名	内容
48600	GpiKey-Up	上△ボタンを割り当てる事が可能です 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効) (以下同)
48601	GpiKey-Dw	下△ボタンを割り当てる事が可能です
48602	GpiKey-Lf	左△ボタンを割り当てる事が可能です
48602	GpiKey-Rt	右下△ボタンを割り当てる事が可能です
48604	Gpi:Key-Play&Dw	GPI が ON すると再生します。 GPIがOFFすると下△ボタン(NEXT)に移動します。 ※MENU(27D03)を有効にすると NEXT 時に CUE UP します。

※ 各 SIO ポート個別での GPI コマンド入力/GPI ステータス出力機能(簡易 GPI 機能)は、
SIO メニュー側で SIO ポートごとに設定可能です。

○ “50000:Lan/Link” 関連

Lan/Link 関連の設定メニューです。

Lan/Link		
項目番号	項目名	設定
51200	\$Unitid	ユニット ID 1 ID ※複数の本機を LAN 接続してシステムを組む場合の識別 ID
51202	LAN-1:IP Address	LAN1 ポートの IP 192. 168. 001. 200
51203	LAN-2:IP Address	LAN2 ポートの IP 192. 168. 001. 220
51204	LAN-1:IP Mask	LAN1 ポートの IP マスク 255. 255. 255. 000
51205	LAN-2:IP Mask	LAN2 ポートの IP マスク 255. 255. 255. 000
51212	LAN-1:PowerOn OnlineChk Rsp	LAN1 用の電源 ON 通知機能 1) <u>Disable</u> 2) Enable ※電源 ON 後、本機から起動通知用のオンラインチェック応答送信機能
51213	LAN-2:PowerOn OnlineChk Rsd	LAN2 用の電源 ON 通知機能 1) <u>Disable</u> 2) Enable
51216	LAN-1:UdpSndTout	LAN1 用の UDP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) (通常左値固定)
51217	LAN-2:UdpSndTout	LAN2 用の UDP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) (通常左値固定)
51218	LAN-1:TcpSndTout	LAN1 用の TCP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) (通常左値固定)
51219	LAN-2:TcpSndTout	LAN2 用の TCP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) (通常左値固定)
51280	LAN-C:CycRspStop	LAN 共通のステータス通知自動停止時間 60 sec ※PC からのメッセージが途絶えてから、本機からの周期ステータス通知等を自動停止するまでの時間。
51401	LINK:SyncPktSend	LINK 機能によるリファレンス供給機能 1) <u>OFF</u> (通常左値固定) 2) ON ※通常は、本設定は OFF とし、各 MCI に直接 Ref を供給して下さい。
55400	LAN-R:DefRspId	LAN による各ステータス応答のデフォルトの応答先 PC の ID 0 (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定であり、設定する場合は通常は”8”
55401	LAN-R:DefRspRtMd	LAN による“リアルタイムステータス応答”のデフォルトの応答送信モード 1) Disable 2) UDP-BC 3) <u>UDP-ID</u> (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定

55402	LAN-R:DefRspSec	LANによるステータス応答のデフォルトの応答間隔指定(秒) 0 sec (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定
55403	LAN-R:DefRspFrm	LANによるステータス応答のデフォルトの応答間隔指定(frame) 1 frame (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定
55406	LAN-R:DefRspOpMd	LANによる“操作イベント(GPI/SW等)ステータス応答”のデフォルトの応答送信モード 1) Disable 2) UDP-BC 3) UDP-ID (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定

○ “60000: System” 関連

System 関連の設定メニューです。

System		
項目番号	項目名	設定
61000	SystemDate&Time	年/月/日 時間 ※内部時計を設定します。
61400	SysFrameFormat	本機内部で共通に使用するシステムフレームフォーマット 1) <u>NTSC-DF</u> 2) NTSC-NDF 3) PAL ※通常は、Ref 入力(及び LTC 入力)に合わせて設定します。
61506	ScreenSaverMode	未使用
61507	ScreenSaverTime	未使用
66000	\$UnitMode	動作モードを切り替えます。 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
66005	Hcopy	画面のスクリーンショットを USB メモリに保存します。 USB メモリを接続して STOP の隣白ボタン(Blank 設定時)を押すと BMP 形式のファイルでスクリーンショットが可能です。

○ “70000:VirtualMcn” 関連

同期制御用マスタ(仮想マスタ)関連の設定メニューです。

※本機の機能による同期制御(各 SIO ポートに接続されている VTR 等の同期制御)を使用しない場合は、以下メニューの設定の必要はありません。

VirtualMcn		
項目番号	項目名	設定
70000	\$VirMcnCnt	本機での仮想マスタの動作台数の指定 4
70201	NtscDF-Mod	仮想マスタの DF の指定 1) <u>Auto</u> 自動 (リファレンスデバイスの TC で自動切り替え) 2) <u>Fix</u> 固定 (システムフレームタイプの設定で固定)
70202	MasterSel	仮想マスタの制御ソースの指定 1) <u>Normal</u> (自立動作、又はリファレンスデバイスに追従) 2) <u>Ltc-In</u> (LTC 入力に追従)
70209	DevSyncMode	複数台同時制御再生の設定を行います。 1) <u>ParaRun1</u> 位相確認無しの同時スタート 2) <u>ParaRun2</u> 位相確認有りの同時スタート 3) <u>Lock</u> 調相制御有りの同時スタート
7020B	VirStsMode	仮想マスタのステータスのソース指定 1) <u>VirMcn</u> (独立動作でのステータス) 2) <u>RefDevTC</u> (リファレンスデバイスの TC のみスルー) 3) <u>RefDevThr</u> (リファレンスデバイスの TC とステータスのスルー)
7020C	VirStopChkWait	リファレンスデバイス追従制御での停止追従感度(ウェイト値) (frame) 30 ※リファレンスデバイスが上記設定値以上停止状態になった時に仮想マスタも停止する。
7020D	PbEeDist	仮想マスタ配下のコントローラから仮想マスタ配下の VTR への EE/PB コマンド分配先指定 1) <u>Lock</u> 同期制御の選択中 VTR へ送信 2) <u>ALL</u> 配下 VTR 全部へ送信 3) <u>P-Port</u> 配下の再生系ポートへの送信 4) <u>R-Port</u> 配下の記録系ポートへの送信
7020F	\$SyncCueupMode	仮想マスタ停止時の配下 VTR への同期 Cueup 制御指定 1) <u>Normal</u> VTR 間の TC 位相合わせ Cueup 有り 2) <u>NonCueup</u> 無し
70400	LtcPlayChkWait	LTC 追従モードでの LTC 再生(1 倍速走行) 検知感度 (frame) 20
70401	LtcStopChkWait	LTC 追従モードでの LTC 停止 検知感度 (frame) 20
70402	LtcPlayLockWait	LTC 追従モードでの LTC 再生(1 倍速走行)安定 検知感度 (frame) 20
70403	LtcPlayOfst	LTC 追従モードでの LTC 再生 TC に対するオフセット 1
71000	\$RefDev	リファレンスデバイスの選択 0 リファレンスデバイスの選択無し (仮想マスタは独立動作) 1~ 選択有り (番号は配下の VTR エントリ番号) ※仮想マスタの動作リファレンスとなるデバイスの選択

71100	\$RecEnaDevBmp	仮想マスタ配下の VTR の Rec 動作許可指定 11111111 11111111 ※LSB=配下の VTR エントリ番号1 ※デフォルトは全エントリ Rec 動作許可
71102	\$SyncDevBmp	仮想マスタ配下の VTR の同期制御許可指定 00000000 00000000 ※LSB=配下の VTR エントリ番号1
71200	\$ShowTime	仮想マスタ(VTR)の基準 TC 00:00:00:00
73000	\$AsnRemInp	仮想マスタへのリモート入力システムのアサイン指定 1) <u>Manual</u> (後述メニューで個別に割り当て) 2) <u>Disable</u> (リモート入力システムは使用しない) 3) x4 (物理 SIO の若番ポートから順に 4 系統自動割り当て) 4) x8 (物理 SIO の若番ポートから順に 8 系統自動割り当て)
73001	\$AsnRemOut	仮想マスタからのリモート出力システムのアサイン指定 1) <u>Manual</u> (後述メニューで個別に割り当て) 2) <u>Disable</u> (リモート出力システムは使用しない) 3) x4 (物理 SIO の若番ポートから順に 4 系統自動割り当て) 4) x8 (物理 SIO の若番ポートから順に 8 系統自動割り当て)
73101 ~ 73108	AsnRemInp-01 ~ AsnRemInp-08	仮想マスタへのリモート入力システムのアサイン (配下に置くコントローラデバイスの SIO ポートのアサイン) Unit=** Ch=** “Unit=”の設定 ** : 割り当て無し M : 自局の意 1~ : 他局ユニット ID (LINK 接続の他局) “Ch=”の設定 ** : 割り当て無し 1~ : 物理 SIO ポート番号
73201 ~ 73210	AsnRemOut-01 ~ AsnRemOut-16	仮想マスタへのリモート出力システムのアサイン (配下に置く VTR デバイスの SIO ポートのアサイン) Unit=** Ch=** “Unit=”の設定 ** : 割り当て無し M : 自局の意 1~ : 他局ユニット ID (LINK 接続の他局) “Ch=”の設定 ** : 割り当て無し 1~ : 物理 SIO ポート番号
73301 ~ 73308	CtrDist-01 ~ CtrDist-08	仮想マシンの配下のコントローラの制御先指定 <u>VirMcn</u> 仮想マシン RemoteOut-01~16 仮想マシン配下のリモート出力システム

4. お問い合わせ

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391 FAX 03-5982-4784

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>
